

市のホットなニュースを紹介！

その他の話題はこちらから▶



輝く 恵那人

250人目

岩村町

小坂 た いち 太一さん（43歳）

□プロフィル

令和7年4月、恵那トビはしご登り隊の隊長に就任。同隊に所属するまではボルダリングに週3回通っており、「体を動かすこと、上に登ることが好き」と目を輝かす。現在は3児の父親として、5歳児、3歳児、1歳児の子育てに忙しい毎日を送る。



▲市消防出初式で「鶯の谷渡り」を披露する小坂さん



威勢の良いかけ声と共に妙技が繰り出され、大きな歓声が起こる。繰り出され、大きな歓声が起こる。戻すべく、日々尽力している。小坂さんは、自動車ディーラーで働く傍ら、29歳で市消防団岩村分団に加入。その後、町内の祭りでトビはしごの迫力ある演技に魅了され、31歳で同隊に入隊した。初めては高さや痛みに苦戦したが、トビはしご登り隊の伝統を未来につなぐだけでなく、最盛期の勢いを取り戻すべく、日々尽力している。

小坂さんは、練習を重ね、技を身に付けた。「トビはしごは技と動きの順番を間違えなければ落ちることはない。練習を重ね、本番は焦らないことが大切」と笑顔を見せる。

隊員不足の問題に直面する同隊。最盛期は15人の隊員が10基の登り手の座を争っていたが、現在隊員は8人に減少。昨年の出初式では5基と規模が半減してしまった。

目立ちたがり屋、大歓迎 市が誇る恵那トビはしご登りを未来に

「昔の活気を取り戻したい」と意気込む小坂さんは、市消防本部と今後のあり方について協議を重ねた。令和7年4月、小坂さんは隊長に就任。恵那トビはしご登り隊は独立し、消防団活動に縛られず、トビはしごだけに専念できる体制が新たに整った。現在はトビはしごの広報に注力する小坂さん。「同隊に所属して、さまざまな年齢や地域の方と関わることができた。地上6mからの景色や、悲鳴にも似た大きな歓声を浴びる瞬間は、他では味わえない特別な体験」と魅力を語る。

1月10日(土)には「恵那市消防出初式」が開催され、同隊は「玉づぶし」などの他、市独自の大技を披露する。小坂さんは「トビはしごに挑戦したいと思ってもらえたうれしい。消防団活動の制限がなくなりた今、気軽に試してもトビはしごに参加してほしい」と話す。当日は、新衣装を身にまとひ、火消しの技で恵那の空を舞う。

11/29 ぼくもわたしも消防団員！消防士！
恵那消防フェスティバル2025

市消防防災センターで恵那消防フェスティバルを開催。昨年より250人多い約1,350人が来場し、楽しみながら消防士や消防団の活動を学びました。



戦後80年を迎え、恵那文化センターで戦没者追悼式が開催されました。戦没者遺族会の会員や来賓ら213人が、戦争により亡くなった方を悼みました。



11/9 陸上自衛隊中部方面音楽隊コンサート



11/23 第31回 東野歌舞伎公演

恵那文化センターで陸上自衛隊中部方面音楽隊がコンサートを開催。マーチの他、ディズニーや美空ひばりメドレーなど、多種多様な音楽で約800人の観客を魅了しました。



11/30 第24回 岐阜県獅子芝居公演

山岡農村環境改善センターで県獅子芝居公演が行われ、市内からは4団体が出演。熱のこもった演技で、訪れた約260人を惹きつけました。

おめでとうございます！☆

全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」の水泳自由形25mとバタフライ25mで全国優勝した古山沙奈美さん(大井町)が喜びを語りました。

11/10 大会新記録で2冠獲得を報告



11/15 いわむらムビコンテスト 最優秀作品を決定

市火災予防ポスター展・表彰式を開催。573点の応募作品から市長賞に輝いた櫻井美織さん(明智小6年)の作品を、市内各施設に掲示し火災予防を呼びかけます。



11/22 市火災予防ポスター展 特別賞30点を表彰